

きゃくほん 脚本 / もぎあきこ え 絵 / いけだまや

みんなを
笑顔に!

しょくぶつう
植物生まれの

プッチンプリン





みんなを笑顔に!

植物生まれのプッチンプリン

脚本 もぎあきこ

画 いけだまや

2022年4月1日 第1版第1刷発行

作/もぎあきこ・いけだまや

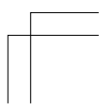
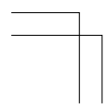
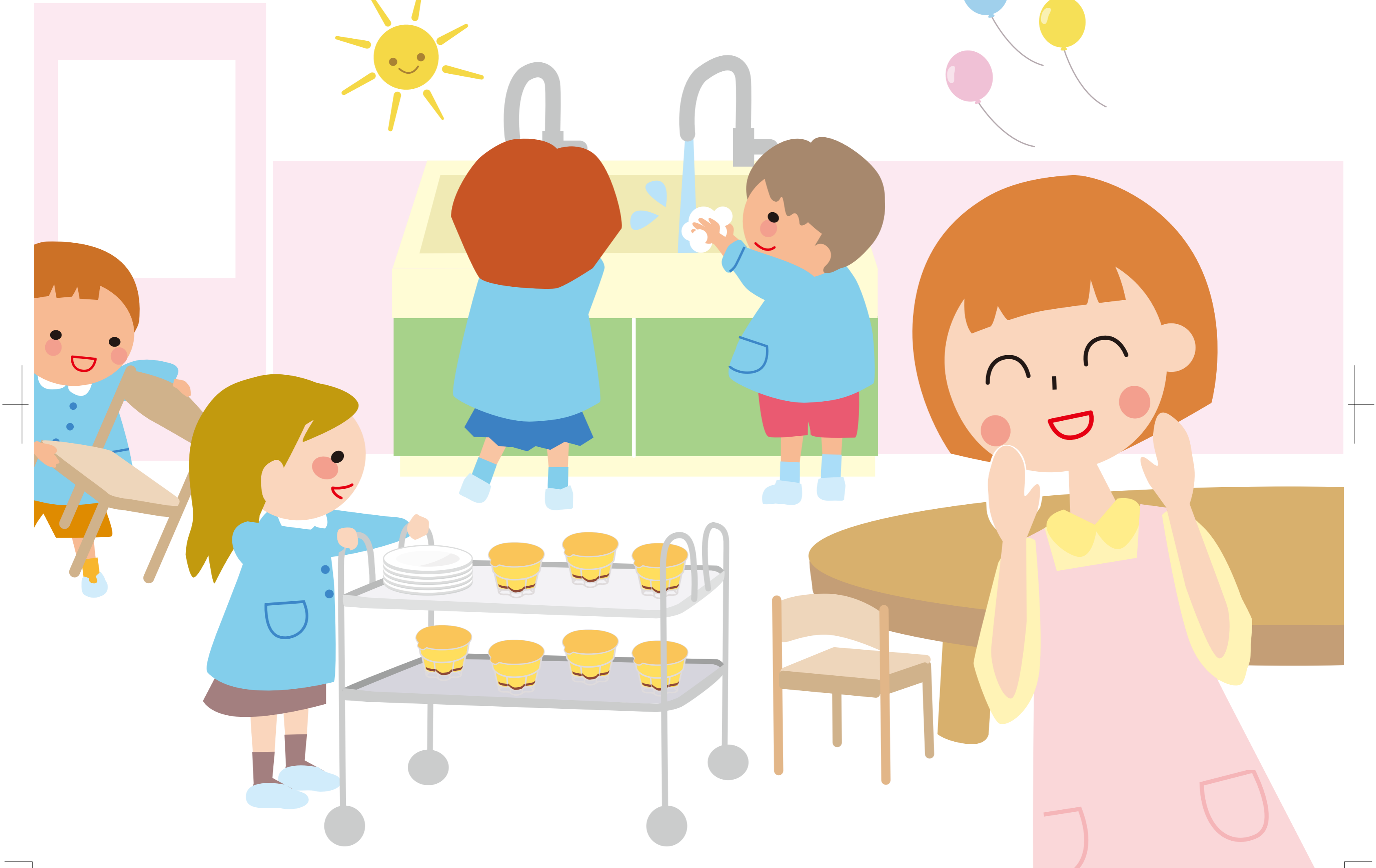
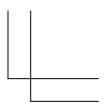
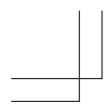
発行/江崎グリコ株式会社
〒555-8502 大阪府大阪市西淀川区歌島4-6-5
Tel. 0120-141-369

製作/株式会社こどもりびんぐ 一般社団法人アナウンス発声協会 EACO

印刷/株式会社プリテックス

扱いによっては紙芝居の紙で手を切ることがありますので
ご注意ください。

本書を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上の例外
を除き、禁じられています。





お楽しみの「おやつ時間」です。

なにが食べられるのか、みんなはドキドキしています。

「それではみなさん、お仕度をしましょうね。

今日のおやつは：プッチンプリンですよ〜！」

「わあい、ぼく、**“プッチン”**ってするプッチンプリン
大好き！」

「わたしも！早く食べたいなあ。」

—ぬく—





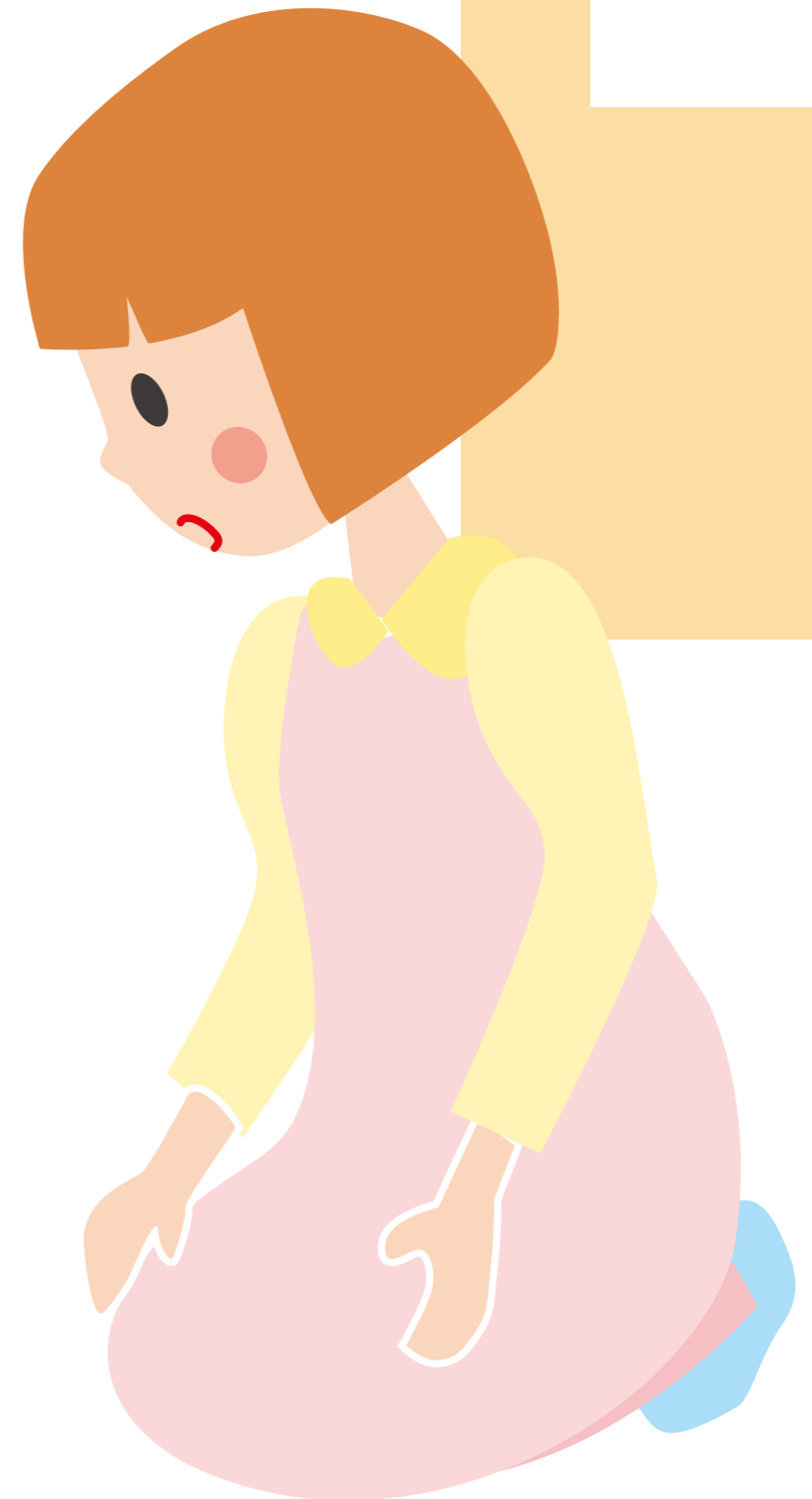
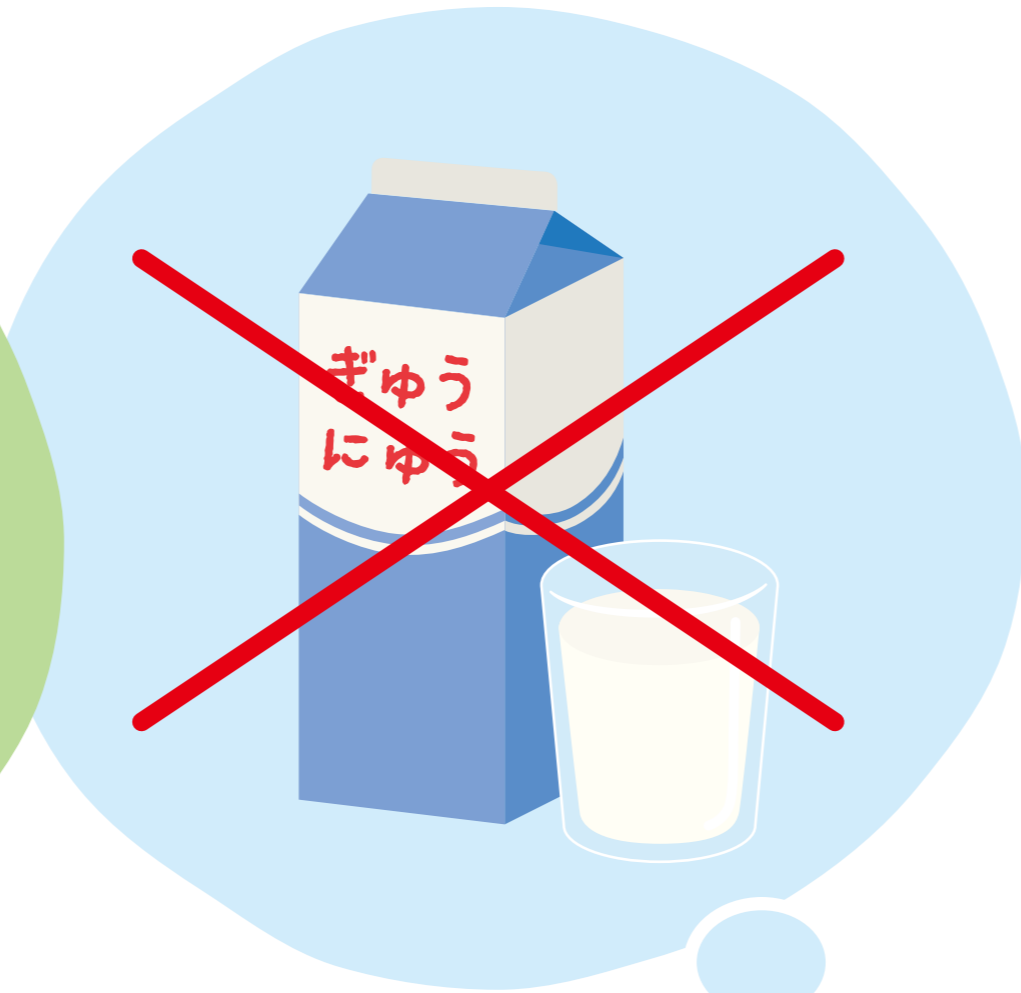
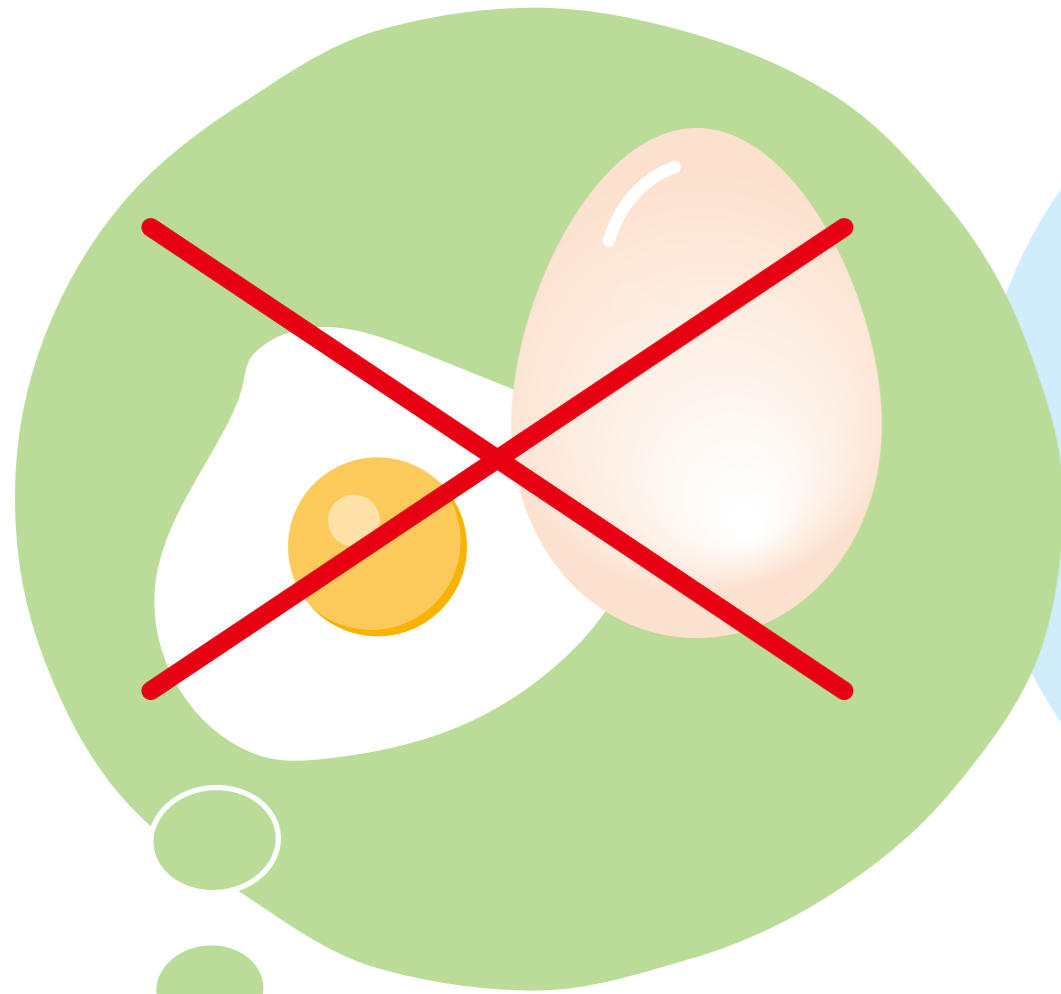
机に並べられていくプッチンプリンに、みんなは大興奮です。

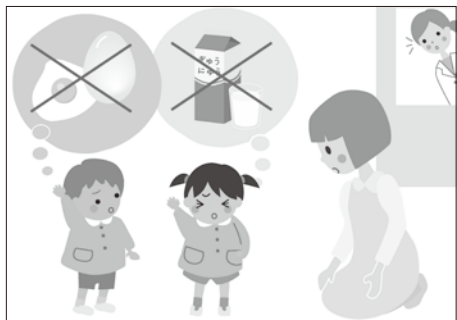
でも、そのなかで、なんだかしょんぼりしているお友達がいます。

「先生、お友達が元気ないの…！」

心配して、先生を呼びにいきました。

—ぬく—





「ぼく、タマゴが入っているお菓子を食べると、かゆくなったりするんだ。」

「そうね、プリンに使われているタマゴが食べられないのよね。」

「先生：わたしのおうちでは、牛乳は飲まないの。プリンには牛乳が入っているから：みんなと“プッチン”できなくてさみしいな。」

「うんうん、牛乳は飲まないのよね。でも、実はね…！」

そう先生が言いかけた時です。

—ぬく—





「大丈夫ですよ。一緒に“プッチン”しましょう！
プリンもプリンでも…今日のおやつは、植物生ま
れのプッチンプリンなのよ！」

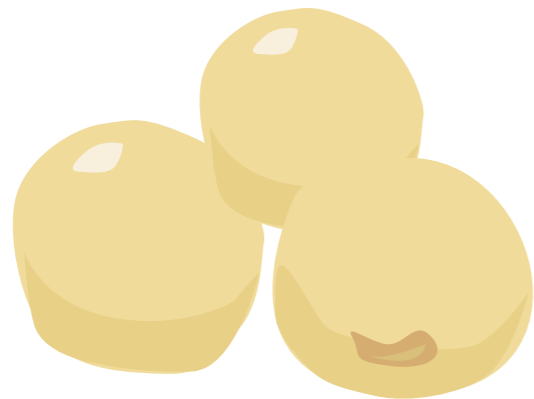
給食室にいる栄養士の先生が現れました。

「しょくぶつうまれの…？」

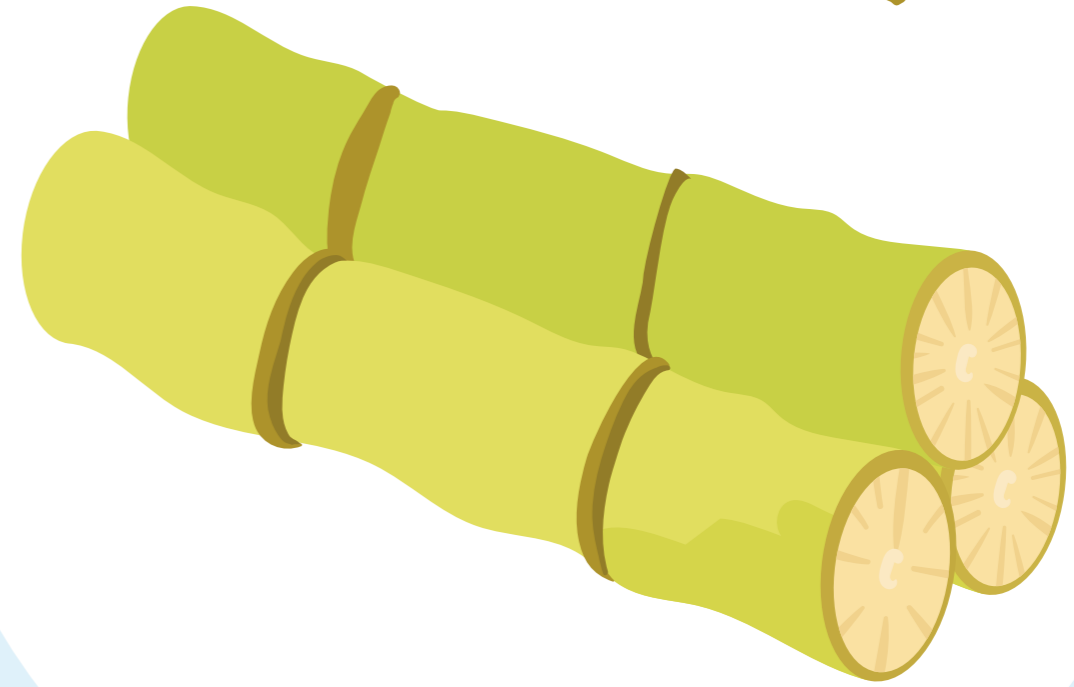
「プッチンプリン!?!」

—ぬく—

とうにゆう



サトウキビ



アーモンド





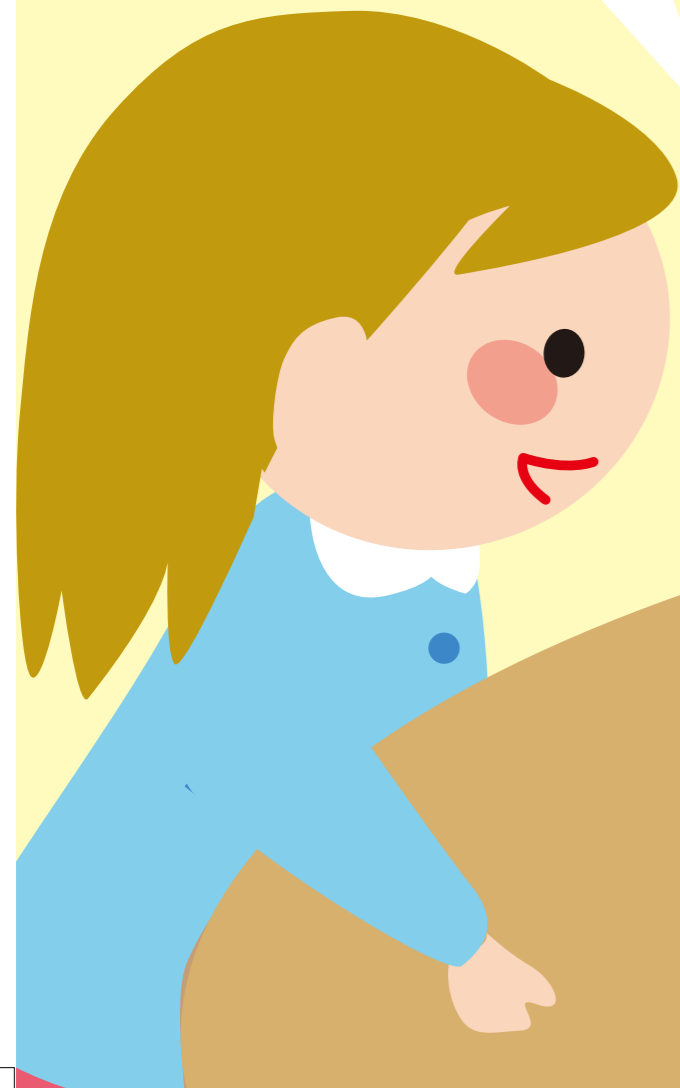
「このプリンは、卵と牛乳はつかっていないの。豆乳やアーモンドペースト、そしてサトウキビから生まれたお砂糖を使っているのよ。

植物からできた食べ物で作られているから、よかったですら食べてみてね！」

「もしかして、わたしも一緒に食べていいの？」

「そうよ！ぜひ、一緒に食べましょう。」

“プツキン”





「卵や牛乳を使っていないプッチンプリンがあるんだ。知らなかった！
ぼく、はじめて“プッチン”してみるよ！」

「それじゃあ、私も…。」

みんなも見守っています。

“プッチン”

—ぬく—





プルルン！

「プツチン」って、初めてできた！すっごく
楽しいよ！」

「わたしもみんなとできて嬉しい！」

—ぬく—





「それではみなさんでいただきますしよう！」

しっかりと手を合わせて…。

「いただきますーす！」

「わくわく！」

「どんな味かな…？」

—ぬく—





パクパク、もぐもぐ…！

「おいしい〜！」

「おかわりほしいな。」

「みんなで“プッチン”できて、とっても嬉しい！」

植物生まれのプッチンプリンで、みんなとびっきりの笑顔になりました。

「ご馳走様でした！」

おしまい